

支援機関の連携、情報交換に取り組む 明石テクノネットワーク

財団では、経営・技術・情報など専門的な相談に対応するため、財団が事務局となり、専門的な支援機関・高専・大学等14団体で構成する「明石テクノネットワーク」を構築し、連携して企業への支援に取り組んでいます。

本年度も、5月16日に産業交流センターに支援機関が一堂に会し、それぞれの支援策の重点的な取り組みや新規事業について活発な意見交換を行いました。

財団はこのネットワークを活用し、専門かつ適切な機関をご紹介します、連携して、企業の課題解決に取り組んでいます。技術開発、共同研究、技術者養成など、まず財団にご相談ください。



会議の風景

経営・技術・情報分野の様々な課題に対応します

- ◆人材育成 ◆IT化の推進 ◆起業・第二創業 ◆経営革新 ◆知的財産
- ◆資金管理 ◆経営・技術相談 ◆技術・製品開発 ◆技術情報 ◆産学官連携

〈構成機関〉

未来ICT研究所・神戸大学・明石工業高等専門学校・兵庫県立大学・神戸学院大学
ポリテクセンター加古川・兵庫県立工業技術センター・ひょうご産業活性化センター
兵庫県発明協会・技術者集団ACT135 明石・日本政策金融公庫・兵庫県東播磨県民局
明石商工会議所・明石市

国内外展示会・見本市出展助成事業を実施します！

～がんばる明石の企業を応援します～

産業振興財団では、市内中小企業の皆様が開発した製品・技術の市場開拓や新製品の販路開拓を支援するため、展示会・見本市へ出展する際の出展料等の一部を助成します。

募集要項等は、財団ホームページ
(<http://www.aicc.or.jp/>) に掲載しています。

問合せ先 明石市産業振興財団 企業支援係
〒674-0068 明石市大久保町ゆりのき通1-4-7
(明石市立産業交流センター3階)
電話番号: 078-936-7917 E-mail: info@aicc.or.jp



イメージ

第3回理事会・第2回評議員会 平成25年度の事業報告と決算を承認

5月29日の理事会及び6月25日の評議員会において、産業振興財団の平成25年度事業報告と決算が承認されました。

平成25年度の我が国の経済は、「アベノミクス」効果によって、ゆるやかな回復基調にあり、株価の復調から消費マインドも明るい状況で、景況感にも改善の動きが見られたところです。

このような中、当財団では「課題解決型企業訪問の強化」、「新規事業者への支援」、「新分野への進出、新事業展開の支援」を重点項目として、市とともに産業振興に取り組んできました。

特に企業訪問については前年度以上に積極的に行い、現況の把握に努めるとともに、課題解決のための相談を実施しました。また、関係機関等と連携し、起業支援、経営革新を支援するセミナー・相談事業を実施しました。さらには、他機関主催のイベント事業を共催・後援するなど、当初の計画にはない事業も幅広く展開することができました。

当財団では、こうした企業支援事業を積極的に進める中、貸館運営において稼働率を伸ばすなど収益を確保するとともに、経費の節減にも努めたことにより、平成25年度決算において当期正味財産増加額は8,827千円となり、その結果、正味財産額(純資産合計額)は293,106千円(対前年比103.1%)となりました。



松本 好雄 理事長

新・財団理事と評議員が決定

理事長

松本 好雄 明石商工会議所顧問
(株)きしろ代表取締役会長)

副理事長

三又 一孝 (一財)明石市産業振興財団副理事長兼事務局長

理事

打越 香悦 ライオン(株)明石工場 工場次長
兼工場管理グループマネージャー
小野 栄津夫 明石工業高等専門学校総務課長
北田 輝彦 兵庫県東播磨県民局地域振興室長補佐
兼ものづくり産業課長
楠 大司 (株)明石菊水代表取締役
竹内 順哉 明石労働者福祉協議会会長
武田 一衛 タケダ商事(株)取締役社長
田中 浩太郎 生活協同組合コープこうべ
第5地区本部長
松村 和美 明石商工会議所専務理事
松本 史朗 神戸学院大学常務理事 事務局長
水田 潤 (株)水田製作所代表取締役社長

監事

高橋 嗣郎 明石市副市長
森澤 毅 日新信用金庫監査部長

評議員

因藤 伸二 富士通(株)神戸支社長
大 潤 和夫 (株)三井住友銀行
公務法人営業第二部長
神田 佳一 明石工業高等専門学校教授
(テクノセンター長)
田中 美生 神戸学院大学経済学部教授
丹波谷 至邦 コベルコクレーン(株)
企画本部人事総務部長
林 祝雄 明石市商店街連合会会長
二見 泰博 東洋機械金属(株)執行役員
企画室長兼CSR本部長
蓬 秀人 日工(株)執行役員 技術本部長
前田 清明 川崎重工業(株)明石工場事務所長

(50音順)

平成25年度決算の概要

(単位:千円)

科 目	実施事業等会計 財団企業支援事業	その他会計 受託事業等	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	1,610	1,610
特定資産運用益	2	0	2	4
指定管理事業収益	0	207,910	5,038	212,948
自主事業収益	156	2,597	0	2,753
受託収益	200	11,848	0	12,048
雑収益	0	1,633	368	2,002
経常収益計	358	223,989	7,018	231,364
(2) 経常費用				
事業費	11,780	203,091	0	214,871
管理費	0	0	7,666	7,666
経常費用計	11,780	203,091	7,666	222,537
当期経常増減額	▲11,423	20,898	▲648	8,827
2. 経常外増減の部				
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	13,759	▲13,759	0	0
当期一般正味財産増減額	2,336	7,139	▲648	8,827
一般正味財産期首残高	6,724	28,089	41,956	76,768
一般正味財産期末残高	9,060	35,228	41,308	85,596
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	207,510	207,510
指定正味財産期末残高	0	0	207,510	207,510
III 正味財産期末残高	9,060	35,228	248,818	293,106

※金額の千円未満は四捨五入しています。このため、合計と内訳の計は一致しない場合があります。

これからの講座・セミナーなどの実施予定

セミナー名等	テーマ（内容）	実施予定
ライフプランセミナー	・平成26年度税制改正について ・弁護士が見た「幸せな相続」「不幸な相続」	7月 1日
神戸学院大学健康セミナー	運動で介護予防(場所:勤労福祉会館)	7月 4日
神戸学院大学公開セミナー	どんな会社が「良い」と言えるのか	7月 9日
金融・経済セミナー	「グローバル化した世界」「円安株高?円高株安?」	7月23日・30日
産業財産権セミナー	自社のデザインを守る知的財産	9月10日
明石高専公開セミナー	明石高専教員による最新の産業技術に関する講演(テーマ未定)	9月
技術実習講座	切削加工(旋盤加工)の基礎を学ぶ(場所:明石高専)	9月11日・12日

※募集については、ホームページ・広報あかし・情報定期便等で順次お知らせします。

各種講座・セミナーの申込

明石市産業振興財団 TEL 078-936-7917 FAX 078-936-7916 E-mail: info@aicc.or.jp

企業訪問2014 ごあんない

明石市では、今年も市内企業の技術課題や経営課題などの解決をサポートするため、各企業の課題に応じたスタッフを編成し企業訪問を実施します。多くの企業の皆様の申し込みをお待ちしています。

相談内容 ・技術的な課題、人材育成の相談
・経営に関する相談など

訪問スタッフ 明石工業高等専門学校、明石市、明石商工会議所
明石市産業振興財団、技術者集団 A C T 135 明石

訪問期間 平成26年8月～12月

お申込み・お問合せ

明石市産業振興部商工労政課

T E L : (078) 918-5098

F A X : (078) 918-5126

支援機関の紹介

兵庫県信用保証協会



● 概 要

信用保証協会は、「信用保証協会法」に基づき設立された公的機関です。

『がんばる企業に保証でエール』を合言葉に、中小企業の皆さまが金融機関から事業に必要な資金を借入される際、当協会が「公的な保証人」となり、資金調達をサポートします。

● 支援内容

中小企業の皆さまからの多様な資金ニーズに応じた各種保証制度を用意していますので、お気軽にご相談ください。

また、平日お忙しい方のために、「土曜 創業・経営相談会」を開催するなど、創業・経営支援にも積極的に取り組んでいます(8月に姫路、9月に神戸で開催)。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。

【ホームページアドレス】 www.hosyokyokai-hyogo.or.jp

● 所在地

本所・神戸事務所

〒651-0195 神戸市中央区浪花町62-1

■ 保証申込に関する相談窓口

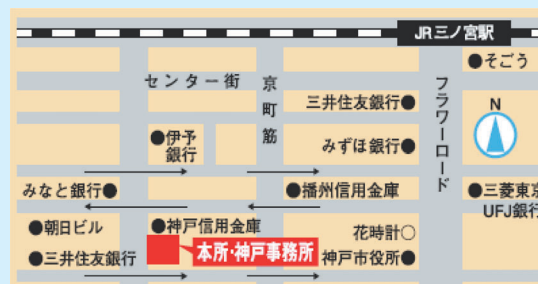
⇒ 神戸事務所 保証相談三課(明石市担当)
TEL 078-393-3916

■ 返済軽減(条件変更)等に関する相談窓口

⇒ 神戸事務所 調整相談二課(明石市担当)
TEL 078-393-3924

■ 創業・経営支援に関する相談窓口 ⇒ 経営支援室 創業・経営支援課 TEL 078-393-3920

■ 期中・再生支援に関する相談窓口 ⇒ 経営支援室 期中支援課 TEL 078-393-4024



会社拝見

Vol. 59

丸榮日産株式會社

所在地：〒673-0023

明石市硯町3丁目3番8号

URL：http://www.maruenissan.co.jp

Tel：078-925-5151(代) Fax：078-925-5155



製品例

創業：大正8(1919)年12月25日

授權資本：7,560万円(2,383万円払込み済)

従業員：47名(平成26年4月現在)

Q：御社の事業内容をお聞かせ下さい。

A： 弊社は1919年(大正8年)に、丸山繁治氏がダンロップ護謨(現住友ゴム工業)から独立し、神戸市で創業。糸のように細い「糸ゴム」の製造に着手しました。現在の社名は1969年(昭和44年)に変更。明石に1991年に本社を移転しました。糸ゴムは、女性のヘアゴム、伸縮包帯、競泳水着など多様な製品に使われています。現在、直径0.254～6ミリの糸ゴム、ゴムシート、ゴムテープの製造販売のほか、生活雑貨用品の企画・卸販売などの事業も行っています。鳥取県に生産拠点をもち、500社以上と取引し、海外にも輸出しています。



岩美工場(鳥取)外観

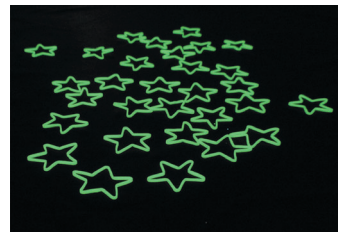
Q：御社の経営理念(経営に対する考え方)をお聞かせ下さい。

A： 日本で唯一の糸ゴム専門メーカーとして、製品を提供し続けることを社会的使命と考えています。「人々の生活をよりよいものにするため」を基本理念に、「あくなきチャレンジ」を続けています。糸ゴムの製法は創業者が開発した「スリッター方式」というものですが、安定した品質を保つには、温

度や湿度、原料の配合等とともに、10年以上の経験を持つ熟練技術者の存在が欠かせません。弊社の価値は「人」にあり、従業員の育成、適正な評価、報酬を重視しています。

Q：御社のセールスポイントまたは、ものづくりに対するこだわりをお聞かせ下さい。

A： 弊社の強みは、鮮やかで豊富な色彩バリエーションの糸ゴム、ゴムシート等を作ることができ、しかも多品種小ロットの受注にも対応できることです。弊社しか作れない新製品開発に積極的に取り組んでいます。ここ数年で美容院等で使用するネックシャッター(カットや洗髪の際、首に巻き、襟口から髪や水が入るのを防ぐ)や蓄光性能を持ったゴムバンド、抗菌性のある水着の部材など新製品を生み出してきました。



星型蓄光ゴムバンド

Q：今後の事業展開をお聞かせ下さい。

A： 糸ゴム・ゴムテープにとどまらず、あらゆる弾性素材を提供する総合弾性素材メーカーとして、いまままでに培った高度な技術とノウハウを生かして様々な繊維副資材の製品開発に挑戦し、新たな市場を開拓してまいります。我々の発想が及ばないところにも市場はあります。例えばグアテマラやブラジルのコーヒー園で、弊社の糸ゴムは害鳥を駆除するパチンコのゴム紐として使われているそうです。これからも社員とともに常に挑戦を続けてまいります。

ご利用ください

企業活動を支援する各種の相談

産業交流センター3階相談室で、専門家による相談事業を実施しています。(無料)

経営相談

毎週火～木曜日
10:00～15:00
明石商工会議所

技術相談

毎週火～金曜日
10:00～17:00
明石テクノネットワーク

発明・特許相談

毎週火～土曜日
10:00～17:00(要予約)
兵庫県発明協会

起業・第二創業相談

毎週火～土曜日
10:00～17:00(要予約)
中小企業診断士

●専門家による相談窓口 毎週火～土曜日 10:00～17:00(事前予約制) ※日時は調整させていただきます。